

We Love

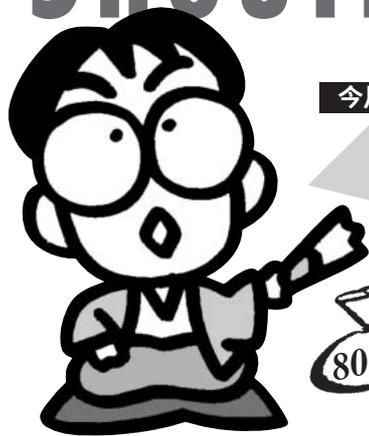
インターネットで見つけたCOOL&FOOLが大集合

Internet People

このコーナーは、インターネットビブルの皆さんが作るページです。話題のインターネットビブル、ネットワークのこぼれ話、読者のサーフィン情報など、読者のみなさんの投稿と編集部が日頃の取材で集めたネタから旬の話題を提供します。たくさんの人の参加をお願いします。

Let's Access!!

Shouting!



今月の高座

80,000
プラス

僕はインターネットプロバイダーを設立しようとしている大学生です。僕の実家のある熊本県人吉 / 球磨地区にはインターネットのアクセスポイントがありません。最寄りのもので100km以上離れており、気軽に利用できる状況ではありませんでした。そこで、地元への恩返しもかねて、ボランティア的に1人でプロバイダー設立を計画し、会社設立から技術関係、営業などすべてを1人でやっています。プロバイダーで儲けようという気はなく(借金だけ残るとまずいですが)あくまで地元の方にインターネットを広めたい

という目的でやっています。技術力はあってもそのほかの部分が素人なので大変ですが、地元の方の声援を受けてがんばっています。今のところ夏休みで何とかやっていますが、僕自身医学生で講義が始まると大変なので、応援してくれる方を募集しています。熊本出身の、またそれ以外でもご協力いただける方はメールをください。どんなことでも構いません。よろしくお祈りします。
佐賀医科大学医学部
縦木裕孝(もみのきひろたか)
mominoky@post.co.jp

編集部



プロバイダーが急増し、巻末のアクセスポイントマップもどんどん密度を上げていっているように見えますが、インターネットの接続ポイントはまだ県庁所在地にしか普及していないのが現状です。県境など、利用者の少ない地域でインターネット環境をどう整備するかは重要な課題だと思います。熊本周辺にお住まいの方、縦木さんに、ぜひ協力してください。それにしても、プロバイダー業務は大変なんですねー。

吉田隆一 さんの意見

ある企業のコンピュータネットワークを管理していた私の知人が、退社してインターネットサービスプロバイダーの会社に就職しました。現在は、ポケベルと携帯電話を持たされ、家にはISDNも引かれ、24時間緊急体制だそうです。かわいそー。

40,000
プラス



Event

この秋はインターネットの学園祭に行ってみよう!

全国の学生が「**電腦学園祭**」を開催

URL <http://www.inter-g7.or.jp/gakuen/>

インターネットを使っている全国の学生有志によって、インターネットを舞台にした学園祭「**電腦学園祭**」が、11月末まで開かれています。

7月から募集しているホームページコンテストでは、10月15日まで「自己PR」をテーマにした作品を受け付けています。専門学校・大学などに在籍する学生なら誰でも応募可能。すでに自己PRのページをもっている人は、ホームページのURLを連絡するだけで参加できます。9月からは、「ウェブオリエンテーリングクイズ」も始まります。これは、検索サービ

スのHole in Oneを使い、指定されたキーワードから連想されるものを検索してゴールにたどりつくというもの。

このほか就職情報のディレクトリーサービス、ゲーム作品のコンテストなど、これから盛り上がりそうな**電腦学園祭**のページ。学生の皆さん、仲間に入ってみたいはいかがですか。

7月26日～29日のNetworld+Interop会場でPRする**電腦学園祭**スタッフの皆さん



Chatting!

声を聞かせて

ちまたでインターネットなんて騒いでいるけど、もう中年と呼ばれる歳になって新しいものに取り組む意欲もないし、カンケーねーなーとついこの間まで思っていたのです。が、6月6日にプロバイダーに入会するや、6月21日にホームページを開設し、7月5日にはSDNを導入。インターネットマガジンも初めて買って、インプレスダイレクトの会員にもなって、今は毎朝インターネットでおはようございますです。早起きができるようになった中年おじさんは、回線がすいている「朝イン(私の造語)」に向いています。さあ、みんなで朝イン族になりましょう。わたしの即席ホームページにも朝のあいさつにきてね。

URL <http://www.wind.co.jp/kambe/>



社外に常駐している上司から、「連絡は電子メールでしてくれ」と言われたので、会議の予定を1週間前と2日前に2回もメールを送ったのに欠席だった。後日、会社に戻ってきたときに訪ねたら、「電子メールは会社でしか見ないので電話で連絡してくれ」だって。そんならええかっこすな!

(久下伸夫)



8月号と9月号に載っていた「ネパールに行く」は、大変興味深かったです。インターネットがかなり広まったといっても、世界的規模で見ればまだまだなんですね。今の東南アジアとか中近東とかアフリカとか南極のインターネット状況ってどうなっているんでしょう。

(村瀬尚之)



投稿募集中

We love Internet Peopleへ投稿してくれた方には、ダイレクトプラスを発行しています。8月29日から発行高を見直しました。採用分には最低で50,000プラス発行します。ポツでも少しだけ発行します。投稿には必ず会員番号を付けてください。入会方法など詳細は294ページに紹介しています。

新企画に向けて次のテーマで情報募集中

- ① 猫も杓子もインターネット
「え? これもインターネット対応なの?」と疑問に感じたもの、感動したものを送ってください。
- ② インターネットビジネスのアイデア
インターネットを使った新ビジネスの企画を送ってください。実際に動き始めたものの紹介でもけっこうです。

このほか、Shouting! Chattingへのお便り、間もなくデジカメで撮ったビジュアル投稿も受け付ける予定です(詳細は次号)。

宛先は

ip-box@impress.co.jp

ホームページを開いた銀座のママ

山本真由美さん



Q: どんなきっかけでホームページを始めたんですか?

真由美: 友だちが飯島愛のプロダクションの社長をやっているんですけど、ホームページを作ったというので、見に行ったんです。そのときは自分で作ったんだと思っていたので、すごいじゃない、私も作ってみたいと思ったのがきっかけですね。依頼して作ってもらっているというのがわかったので、私もどのくらいかかるか何社かに問い合わせしたんですが、1ページ5万円とかみんなけっこういい値段だったんです。ひとつ2万円というところがあって、最後は1万円でもいいと言っていたんですけど、ホームページって更新もしなきゃいけないし、メール管理も必要ですね。更新のたびにお金がかかるとしたら、年間ではけっこうな額になっちゃう。それなら、お客さんに普通にCDMを出したほうがいいから、1回はあきらめた。でも、あきらめきれずに本屋さんに行って『千葉麗子と作るホームページ』という本を買ってきたんです。

Q: あの本は参考になりましたか?

真由美: おもちゃみたいな本で、本当にこ

んなのでできるのかしらと思いつつやっていたんだけど、いちばんベーシックなことをやってみたらできたんで、すごいなと思って。それで、絵はどうしようかと思って、出たばかりのリコーのデジカメを買ったんです。もうちょっとホームページをグレードアップしたいなと思って、たまたま本屋さんに行ったら、『HTML&CGI入門』という本が出ていて、表やクリッカブルマップも作れるように書いてありました。

Q: 勉強を始めてから10日くらいで作っちゃったんですね。

真由美: どうして急いだかという、3月の後半にうちの店のパーティーがあって、その前にホームページで来週パーティーですよというのを公開したかったんです。10日くらいでできたんですけど、他のページを見ていたら、テロップが流れているようなのがあって、あれを私もやりたいと思って。二フティに「あのテロップみたいなのはどうやって作るか教えてください」と書き込んだら、「Javaっていうのを使うんだよ」と教えてくれた人がいて、そうかと思ってさっそく本を買って行ったんです。

山本真由美さんは、銀座八丁目のクラブ「KAJI」のママ。そして、インターネットに『真由美のホームページ』を開いている。お店としてホームページを公開しているクラブはほかにもあるが、自分でHTMLを書いてページを作っているのは、真由美さんが初めてだ。しかも、Javaを使った凝ったページ。アクセスもすでに1万人をはるかに超えている。インターネット使いの銀座のママとは一体どんな女性なのだろう。青山のイタリアンレストランでお話をうかがった。

Q: だいたい本を読んで独学で何でもやっちゃうんですか。

真由美: それと、人に聞くことです。二フティで知り合ったコンピュータに詳しい人がたくさんいます。わからないことがあっても、パソコン通信に書き込みをすると、たくさん返事がきますよ。女性だからと言われますけど。

Q: ニフティを始めたのはどんなきっかけだったんですか?

真由美: 当時の二フティの役員の方がたまたまお客さんで、お付き合いで二フティに加入したんです。でも、パソコン通信なんてそんなに役に立つものなのかどうかわかりませんでしたし、そんなことやっているよりしなくちゃならない名刺整理がいっぱいある。でも、試しに掲示板に「パソコンについてわからないことを教えてください」と書いていたら、たくさん答えが返ってきた。それから、二フティのフォーラムで見たいところには全部行って見ました。看護婦さんとか警察官とか弁護士さんとか僧侶とか、いろんな方と知り合いになりましたよ。

Q: パソコンを始めてから12年くらいになるそうですね。最初のパソコンは何だったんですか?

真由美: 最初はMSX2です。お客さんの名刺が増えてきて、それまでもファイルで会社別に分けたりしていたんですが、それだと追いつかなくなってきて。それで、何かいいものがないかと思って秋葉原に行ってMSX2を買ってきたんです。それで名刺のデータベースを作りました。MSX2は今もあります。一昨日15年ぶりのお客さんが来て、久しぶりにMSX2のデータが生きたなあと思いました。

Q: MSX2は独学で使えるようになったんですか?

真由美: パソコンの知識は何もありませんでした。とにかくマニュアルを読んで、読んでもなかなかわからないけど、最小限必要なことはできるようになりました。あの頃はまた教えてくれるような人はなくて、そういう知り合いができたのはそのあとPC-9801VXに替えてだいぶたってからです。もう亡くなられたんですけど、コンピュータメーカーの顧問のおじいちゃんが出て、お店で話しているとコンピュータのこと何でもよく知っているんです。奥さんがなくなって寂しいので、たまに電話するとすごく喜んでくれて、そのおじいちゃんからだいぶ知識を得ましたね。

Q: 3月に公開してからカウンターは1万人をはるかに超えていて、メッシュネットのなかでも人気のページの1つですね。

真由美: メールも600通以上きています。いちばん多いのは、「お店の料金はいくらですか」というメールですね。みなさん接待に使えるかどうかとか考えてくださっているようです。でも、料金をお答えすると、それではちょっとという方も多いようです。

Q: ホームページは仕事にも役に立っていますか?

真由美: うちの店の宣伝ということもありますけど、他のホームページが役に立ちま

すね。DNA関係の仕事をしているお客さんに、DNAのページを検索してプリントアウトして渡したら、すごく喜んでくださった。インターネットを全然知らない人にとっては驚異なんでしょう。「この資料全部自分で作ったの?」って驚かれましたから。それがきっかけで、DNA核酸の通信販売を私のホームページでスタートすることになりました。DNA核酸は栄養補助食品や医薬品として今話題になっていますが、私のホームページでは美溶液と高純度のDNA核酸を販売しています。併せてDNAに関する参考情報も掲載しています。

Q: 真由美さんのホームページはJavaを使った、面白い凝った作りですが、ホームページ作りの秘訣はどんなところにありますか?

真由美: 私は基本的に忠実で、取りかかる前に専門書を読み込んでから、作業に取りかかります。すごく計画的なんです。このファイルは(と分厚い書類ファイルを見せながら)ホームページ作成キットなんです。レスキューとかを全部プリントアウトして、ファイリングしてあります。美容院で待っている時間とかに全部読みました。本よりも、そういうインターネットから取ってくる情報のほうが役に立ちますね。あとは、いいなと思ったページのソースをよく読むことですね。

Q: Javaもいろいろ使っていますし、音声も鳴りますね。

真由美: 音声は、昔からテキストを音声で読ませるソフトを使っているので簡単なんです。化粧しているときに、読みたい本をパソコンに読ませるんです。本はスクリーンで読み込んでOCRで入れちゃうんで



真由美のホームページ

URL <http://www2.meshnet.or.jp/~ymmt80/>



す。最近のOCRは認識率もけっこういいですよ。

Q: 希望者にパソコンを教えることもやっているんですね。

真由美: 教えますけど、時間当たりのコストはけっこう高いですよ。それでもという人にしか教えません。同伴するときに、ご飯食べながら教えるのがいいですね。

Q: これからホームページでどんなことができればいいと思っていますか?

真由美: 自分の能力を買ってほしいんです。学生さんが就職活動をするのと同じで、私は大脳生理学をやっているし、ほかにも趣味がいろいろあるので、それを企業に着目してもらおうとか、本を出したいので、依頼が来ないかと思っています。自分の能力が生かしていけるようなポジションがほしいんです。ホームページを開いていけば、きっといろんな人から依頼が来るんじゃないかと思うんです。私の持っている医学とパソコンと英語の能力を全部生かして、それがお金を産んでくれるといいですね。

(取材・文 / 鈴木康之)

◎取材中もPHSで二フティにアクセスしたり、膨大なインターネットの資料を眺めたりして説明してくれた山本さん。

場所: イタリアンレストラン GUARDINETTO (ジャルディネット)

Net Surfing!

読者が作るイエローページ

自称「中高年」のお2人から寄せられた自薦サイトはなかなかの力作でした。離れてしまった友だちと再び会えるかもしれないサイトも面白そう。

ネイチャーフォトギャラリー

URL <http://www.yk.rim.or.jp/tabata/>

パソコンと山歩きと写真の趣味をトライアングルに結ぶことができたらどんなに楽しいだろうと思ったのが、パソコン通信を始めた働き盛りの春(?)でした。あれから10年が足早に過ぎ、いつしか55歳になっていました。ここは、一番がんばって夢を現実にしなくてはならないとホームページ作りを思い立ち、ひと月あまりの猛勉強の末、やっと完成したのがこの『Nature Photo Gallery(ネイチャー・フォト・ギャラリー)』です。山の写真や風景写真・花の写真を中心にした平凡なホームページですが、55歳の元技術屋が作ったものであることを強調したいと思います。また、世の中高年諸氏に送るエールとして見ていただき、1人でも中高年仲間が増えればと願っています。



骨董極楽生活指南

URL <http://www.win.or.jp/tino/>

ホームページを自作したいと思い立ってから

早くも半年、まだまだ準備中も多いですが、やっと見ていただけそうな体裁になりました。骨董屋稼業のかたわら、店番しながらのホームページ制作は楽しいものです。50も半ば過ぎになって、こんなに面白い趣味に出会えるとは、時代に感謝です。でも、塾年者のページってけっこうあるんですね。(井上孝彦)



この指とまれ!

URL <http://www.nouvellevague.com/tomare/index.html>

自分の出身大学と高校、そして中学まで登録できるサイトです。その中で、最近会っていないなつかしい名前を見つけることができるのと非常にうれしいのですが、登録数が少ないのが、自分の出身中学などは登録すらしてなかったです。同じ同窓生とメール交換や、同窓会の案内などがメールで送られてくるのを待ちたいです。しかし、この登録も手動でやっているみたいなので、ウェブの管理者も大変そ



55歳の田端光男さんの写真集

うです。



某有名サイトの秘蔵(?)の画像

URL <http://www.penthousemag.com/magazine/>

magazine/

インターネットを始めると、まず見に行くwww.penthousemag.comですが、実は過去1年分のデータが隠されているんですね。雑誌と一致させた月別のグループごとに分類されているようです。例の2月にはすべての画像がblack outになっていましたが、なんとか復活させてくれました。また、注意しているとバックナンバーもときどき更新されています。これで何百(?)という画像が一挙に見られるんですから便利なことこの上なしです。えっ、こんな常識? さすがー。(Kichitaro Ikeda)



バーチャル田んぼ通信 2

真夏の強い日差しが照りつける中、田植えのときには芝生のような苗もぐんぐん伸びて、まだ小さいながら、稲の風格を漂わせ始めました。

先日、龍野へ出向いたときに、ホームページに載せるための苗の写真を撮りながらふと思いつき、どれか1株の苗を決めて成長を記録することにしました。道路側、一番手前の左から12番目の苗で、大げさな言葉で定点観測となるのですが、なんせ広い田んぼです。少し親しい感じのほうに気持ちが入るか名前をつけることにし、この稲に「満作」と命名しました。

しかし、苗が大きくなったと喜んでばかりいられません。これから草取りという大変な仕事が始まります。稲の生長につれて育ち始める稗(ひえ)は成長が早く、同じ科目の植物なので

真夏の草取り!

URL <http://www.mmjp.or.jp/tambo/>



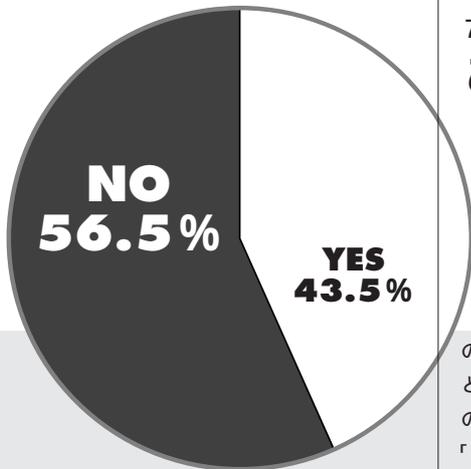
稲が育つ龍野市の田んぼ。左から3番目が「満作」(といっても読者にはきっとわからないだろう)

少し大きくなると稲との見分けがつきにくくなりますが、放っておくと稲の栄養を取り込んで稲の成育を妨げることになります。そこで、近

年は除草剤を使うのが普通ですが、バーチャル田んぼの米は低農薬ですから、駆除しきれない分、人の手で草取りをしなければなりません。農薬を使わなかった昔は、ひと夏中、田を這いずりまわっての草取りに追われていたそうです。

都会育ちの私は、つい、有機・無農薬などと気軽に言い放ってしまっていますが、なんとも大変な仕事が必要になってくるものだとなんと複雑な心境になってしまいます。バーチャル田んぼの私たちが集まってする田植えや草取りは、面積あたりの人数が圧倒的に多くなるので、実は楽なんです。けれど、いまだ有機栽培や農薬を控えた農作をすることには、手間をおしまない職人気質を感じさせてくれるダンディズムがしっかりと存在し、作物を通して作り手の充足感や充実感が伝わってくるような気がします。

(石川コオ)



7月の結果報告

あなたはインターネットがなくても生活できますか？

Yes はい、インターネットがなくても仕事や生活に影響はない。

No インターネットがなくなったら生活や仕事に支障をきたす。

WWWサーバーで実施している世論調査に寄せられた意見から、一部を紹介し
ます。このほかの意見はインターネットでご覧ください。

URL <http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/yes-no/>

会社の簡単なホームページを作っているだけで、電子メールも活用しているとは言い難いです。中小企業ですが、世間で騒がれている状況とは裏腹に、現場ではあってもなくてもさしたる支障はありません。ごく一部の先進企業ではそれなりに活用し、営業にも役立っているのですが、どうも、個人の自己表現の手段として利用されているのがほとんどのように思います。自己表現手段ならほかにもあります。 (男性 41歳 会社員)

少なくとも、現在の日本において、インターネットは必要ないように見える。実よりも形を優先する日本社会においては、相手とした話の内容よりも、「相手と話をした」という事実

のみが優先される。したがって、電子メールなどの、内容のみを重視するコミュニケーションの手段は日本ではなじまない。電話ですら、「電話だけですますなんて失礼な奴だ」とまで言われる社会なのだから。月に200時間は利用している私自身も、インターネットがないからといって特に困ることはない。今だけの話をすれば、ほとんどの日本人にとって、インターネットは自己満足か、ただの遊びだと思う。本屋に行けばよくわかります。(男性 27歳 会社員)

現在では生活には困らないことが多すぎる。生活する段階では生かされていないから。(男性 24歳 公務員)

現在、情報処理関連の会社に勤めています。社員のインターネットの普及率はそれほど

高くなく、お客様との情報交換も二フティサーブを使用するのがほとんどです。私は個人でプロバイダーと契約し、会社業務とは関係なく、パソコンなどの情報を収集していますが、ほとんどの情報はPC関連雑誌からも情報を得られますし、アップデートモジュールなどもだいたいのは雑誌の付録CD-ROMについてきます。情報の即時性はインターネットに分があると思いますが、提供される情報に独自性がないように思います。

(男性 25歳 プログラマー)

今、私の生活からインターネットがなくなるとしても、困ることと言えば、おしゃべりE-mailができなくなるくらいのもので…。でも、それってE-mailだから便利だけど、E-mailでなくてもできることだし、どうってことはないかな。WWWはなくても十分生活していけると思う。(女性 22歳 無職)

YES の意見から

私は仕事からの帰りが遅いので、友人との連絡手段として電子メールが欠かせないものとなっています。(男性 27歳 公務員)

朝、大学に来ると、すぐに電子メールを確認し、仕事もずっとEudoraを立ちあげっぱなしで、夜帰るときにはじめて電源を落とす。このような生活をしている私にとって、インターネットはもはや電話以上に有用な道具である。使えないと下手をすると日常生活にまで支障を来す。研究室内の作業の連絡や情報交換もメールを使うことが増えてきたので。実は5日ほど前からDNSの調子が悪く、電子メールが全く外から届かない状況になっているのである。インターネットが使えないといかに支障があるか、いままさにひしひしと感じているのである。(男性 24歳 大学院生)

もはやインターネットや電子メールは米国や

NO の意見から

日本などの先進国(?)だけでなく、多くのアジアや中南米の得意先から会社のWWWのURLや電子メールアドレスの問い合わせがあります。また、電子メールで多くの引き合いが来しています。肌でグローバルネットワークの波を感じております。

(男性 34歳 会社員 / 製造業輸出部門)

インターネットは寂しさをごまかすこともできるし、ネットニュースで同じ趣味の人とも話ることができるから自分から切り離すのは無理だろう。(男性 13歳 学生)

結婚して出産、ごく普通のオバサン街道一直線だった私ですが、インターネットに出会い、少しずつ変わっています。こんな私でも、子供が小さくても、バリバリインターネットを

通じて働くことができるのですからすばらしいですよ。最近のオバサン予備軍の中にも、社会と関わっていたい人もたくさんいるはず。そんな人の自己啓発に役かっていると思うのです。(女性 24歳 主婦)

始めたばかりで今はとっても楽しいので、なくてはならないものです。

(女性 25歳 家事手伝い)

もっとインターネットを気取らずに語り、使える世の中になってほしい。

(男性 22歳 編集者)

取り上げてほしいテーマをお送りください。
宛先 ip-box@impress.co.jp

次のテーマ あなたは「在宅勤務」したいと思いませんか？



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp